

事故防止 227号  
2023年3月10日

関係団体 殿

公益財団法人 日本医療機能評価機構  
医療事故情報収集等事業  
執行理事 後 信  
(公印省略)

医療事故情報収集等事業 「医療安全情報 No. 196」の提供について

平素より当事業部の実施する事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、医療事故情報収集等事業において収集した情報のうち、特に周知すべき情報を取りまとめ、3月10日に「医療安全情報 No. 196」を当事業参加登録医療機関並びに当事業参加登録医療機関以外で希望する病院に提供いたしましたのでお知らせいたします。

なお、この医療安全情報を含め報告書、年報は、当事業のホームページ (<https://www.med-safe.jp/>) にも掲載いたしておりますので、医療事故の発生予防、再発防止のために、貴団体の取り組みにおいてご活用いただければ大変幸いに存じます。

今後とも有用な情報提供となるよう医療安全情報の内容の充実に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



# 2022年に提供した 医療安全情報

No.196 2023年3月

2022年1月～12月に医療安全情報No.182～No.193を提供しました。  
今一度ご確認ください。

番号	タイトル
No.182	セレネース注とサイレース静注の取り違い
No.183	製剤量と成分量の間違い(第2報)
No.184	2021年に提供した医療安全情報
No.185	使用済み内視鏡の別の患者への使用
No.186	★抗がん剤投与前の血液検査値の未確認
No.187	2021年に報告書で取り上げた医療安全情報
No.188	下肢閉塞性動脈硬化症の患者の弾性ストッキングの着用
No.189	★温めたタオルによる熱傷
No.190	膀胱留置カテーテルの接続口の選択間違い
No.191	容器の取り違いによる高濃度のアドレナリンの局所注射
No.192	★医療関連機器による圧迫創傷
No.193	薬剤の投与経路間違い(第2報)

★のタイトルについては、2022年12月31日までに再発・類似事例が報告されています。

